

NEWS RELEASE

2023年3月24日

新倉庫『熊谷物流センター』 2023年3月竣工式開催



(左から、東洋製罐株式会社 代表取締役社長：本多正憲、熊谷市長：小林哲也氏、
当社代表取締役社長：篠山健司、東洋製罐グループホールディングス株式会社 取締役常務執行役員：副島正和)

東洋メビウス株式会社（本社：東京都、代表取締役社長：篠山 健司）は、2023年3月22日（水）に、かねてより建築中でありました新物流倉庫「熊谷物流センター」の竣工式を執り行いました。

熊谷市長をはじめとする関係者の方々にご参列いただき事業発展を祈願しました。



晴天にも恵まれ青空を背景に熊谷市をアピールしたラッピングトラックのお披露目や高密度保管システム【マジックラック】、太陽光発電モニターを実際に間近で見ていただく内覧会も催しました。

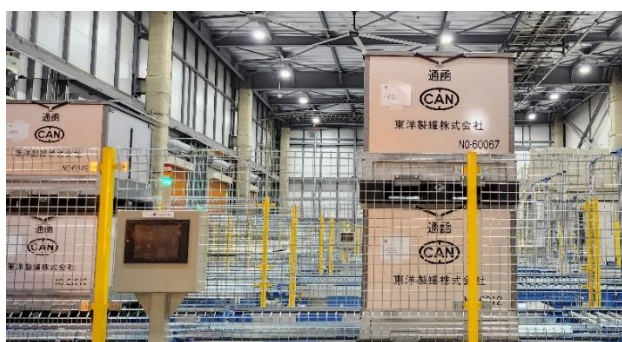
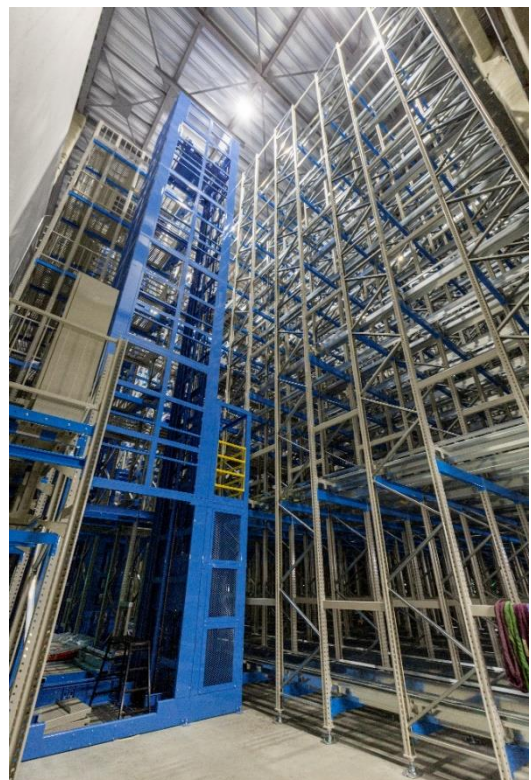
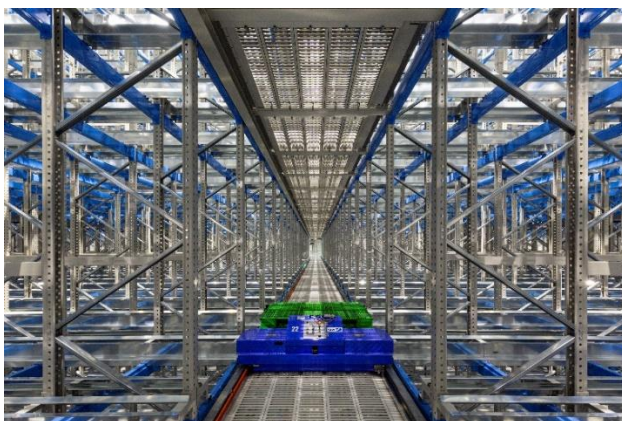
内覧会には、神事にご参列の皆様その他、近隣企業の皆様にもお越しいただき、ご祝辞を賜り厚く御礼申し上げます。



ラッピングトラック 1台目 関東一の祇園「熊谷うちわ祭」と妻沼聖天山「国宝 歓喜院聖天堂」
2台目 さくらのまち熊谷「熊谷桜堤」と学生ライダーの聖地「妻沼滑空場」



高密度自動倉庫マジックラック



熊谷物流センターは、「お得意先へのサービス向上」「ホワイト物流の推進」「環境配慮」の3つを実現するための次世代倉庫モデルケースとして誕生しました。熊谷を拠点に当社の得意先である生産拠点と納品先群をつなぐ門前倉庫としての役割をフル活用し、配送の効率化向上や、物流の平準化とトラックの安定運行を目指します。

当社は、これからも2024年問題や省人・省力・省エネ化に積極的に取り組み、持続可能な物流の実現を進めてまいります。

【新倉庫の概要】

所在地	埼玉県熊谷市妻沼西二丁目（妻沼西部工業団地内）
敷地面積	17,800 m ² （5,400 坪）
延床面積	22,000 m ² （6,700 坪）
倉庫仕様	平置き倉庫棟 2 階層（2 階事務所エリア） 梁下有効高 7.5m 床荷重 1.5t/m ² 格納量 7,000 パレット（1440 mm×1130 mmサイズ） 出荷バース 4 ヶ所 高密度倉庫棟 3 階層 高密度保管システム ラック 6 段積み 格納量 8,000 パレット（1440 mm×1130 mmサイズ） 出荷バース 6 ヶ所
施設仕様	物流倉庫（平置棟 + 高密度倉庫棟：高密度保管ラック） 全館 LED 照明、垂直搬送機 2 基、荷物用 EV 1 基 除湿器、空調機、大型ファン
着工	2022 年 4 月
完成	2023 年 2 月末
設計・施工	清水建設株式会社

【本件に関するお問い合わせ】

東洋メビウス株式会社 総務部 Tel.03-5436-0251

（お問合せフォーム）<https://www.toyo-mebius.com/contact/>

当社の物流サービスについてはこちら

<https://www.toyo-mebius.com/service/>